

東大物性研究所 液化室だより

◎1月26日、六本木キャンパスで最後のヘリウム供給を終了

40年間にわたって液体ヘリウムを供給し続けてきましたが、去る1月26日、最後のストレージを汲み終え、六本木キャンパスでの供給を終了しました。

思えば、六本木で供給を始めたころは1時間8Lしか液体ヘリウムがつかれなかった液化機をコトコトと動かし、供給も1日20~30Lが限界でした。それがいまでは1時間180Lも出る機械で、当時の4ヶ月分に相当する量をたった1日で供給する日も珍しくないほど飛躍的に増加しました。

またこの40年間で人も街も環境も、そして物性研もずいぶんと変わりました。変わらないのは建物と、周りの樹木くらいなものでしょうか。いずれにしてもあと数十日で六本木ともお別れです。

これから研究本館への移転が完了し、実験が本格的に再開されれば供給もまた増えますが、そしてこれから柏キャンパスでさらに何十年と供給することになるかも知れませんが、新たな気持ちで励みたいと思います。

これまで六本木キャンパスの液化室の発展のためにご尽力いただき、支えてこられた先生方、諸先輩方、あるいは一緒に働いた方々に改めて感謝したいと思います。

◎液体ヘリウム・液体窒素の汲出し、ヘリウムガスの回収について

液体ヘリウムの供給は1月26日で終了し、また、液体窒素も1月28日で終了しますが、まだ両寒剤とも液化室に少し予備がありますので、これからどうしても必要とする研究室がありましたらご連絡下さい。

また、ヘリウムガスは今まで通り、回収して下さい。